

第8回 仙台医療介護連携の会

ご報告

開催日時: 平成27年5月19日(火) 19:00~21:00

会場: 仙台サンプラザホテル

内容

【情報提供】

「宮城県第三期地域医療再生事業補助金
平成26年度の取り組みと27年度の計画」 事務局

【グループ討議】

「市民フォーラム開催を通して
市民への普及啓発を考えよう」

出席委員 14名(仙台市圏域を中心に構成)

市医師会2、市歯科医師会1、市薬剤師会2、県看護協会1
県訪看連絡協議会1、市地域包括協議会1、市老人福祉施設協議
会1、県認知症グループホーム協議会1、仙台介護サービスネット
ワーク1、県病院協会1、学識経験者2
オブザーバー3名 宮城県:長寿社会政策課1、仙台市:障害者支
援課1、介護予防推進室1



市民フォーラム開催を通して市民への普及啓発を考えよう

Aグループ

事前に、参加申込み時にアンケートを取り、それを2部の話の中に盛り込む。

歯科が自宅へ往診してくれるといったことが知られていないのでDVDにて紹介する。

映像でなくとも、訪問看護はどういう事をする、グループホームの入り方などを文字で紹介するのもいい。

事業者があればこれするのもいいが、市民側から見ると、Aさんの状態だとういうサービスを受けられるといった事例をいくつか示す。

働き盛りの介護離職が問題になっている。テーマと逆行するが、あまり在宅で世間の押しつけがあると、そういう問題もあるかも。

サービス資源を上手く使えば離職せずに済む。ケアマネの実力も関係するが、24時間の定期巡回なども知らなければ提供できない。制度を熟知することが必要。

訪問看護で看取りまでの支援ができることが、まだまだ市民の方に知られていない。

今、在宅のメインテーマは認知症。家族が困る周辺症状。それをテーマに取り上げては、

相談コーナーは長い場合途中で止めるの難しい。相談で終わらない人は地域包括支援センターを紹介する形をとるといいのか。

Bグループ

事前アンケートで相談内容を把握しておく。

開演開始まで映像資料を流しては。

事例を踏まえた具体的な関わりについて語ってもらい、各職種が如何に寄り添って支援していくかを語り合う。

独居の方が最期をどう迎えるのか、どんな支援があるのか。

家族の看取りだけでなく自分がどう最期を迎えたいか、尊厳死について知りたい方が多い。

相談コーナーを作るならブースを区切って個人情報保護する。長引いた時はどうするか。また各団体から然るべき人が平日に出られるか。

独居の方の相談は予想外のことが起こる。認知症に備えて成年後見人制度の事、一人で死ぬ事の意味を見出す宗教的な支援など。

参加者を増やすことを考え、演奏や合唱団やご当地アイドルを呼ぶといった方法もある。

ストレスチェックや血圧測定は好評。

展示体験ブースで、紙媒体を渡したり、無料の体験コーナーや、アンケートに答えた方にはおむつや介護食サンプルの持ち帰り等もあるといい。

倒れる人も出るかも。救護所必要。

Cグループ

地域包括支援センターとして相談コーナー、展示コーナー、DVDなどで活動を知ってもらう。

体験者に現在、過去、進行形の体験談を話して頂けたら、参加者にとっては良いのでは。

医療と介護の職種紹介と多職種でのケアが可能な事を知ってもらう。

認知症の高齢者が、在宅で生活でことを事例などでお伝えしたい。

ステージで認知症をテーマにした寸劇をしたら、面白いのでは。シナリオを「すぐろく」にしての寸劇も良いのでは。

参加者全員で「認知症予防にもなる口の体操」をしたら面白いかな。

大人のソフト食品、最後まで口から食べる為に口腔ケアの大切さを展示してはどうか。展示だけでなく、試食も説明して聞いてもらいたい。

自宅でもリハビリ可能な事を知られていないので、体験、体験型の器具などがあっても良いのかな。

介護ロボのようないろんなサポートができる器具の紹介。

訪問看護師さんの「お金をかけず、お家にある物で作るアイデアグッズ」を紹介。

発表後に出た意見 腰痛防止にスライディングシートの実演もどうか。吸引の人形などで説明するのも。託児所があれば若い人も来られる。

上記意見を踏まえ、事務局で検討を重ね、以下に決定

映像関係 訪問歯科DVDは開始前に流す。燕沢包括様作成の認知症DVDも流す。(どの時間かは調整中)

展示体験コーナーで、①紙媒体を渡す ②摂食嚥下に関する展示説明 ③口腔ケアに関する展示説明 ④福祉用具の展示説明 ⑤楽な介護に関してなどの展示説明

11:30~
展示 映像
・ホワイエ 展示説明
・ホール 歯科等の映像流す

12:30~
第1部 講演
・ホール 最期までお家で生活するために 川島

13:50~
ステージ発表
・ホール 休憩後 合唱(認知症の患者と家族の会 調整中)

14:10~
第2部 Q&A
・ホール 在宅医療の具休例をスライド映像で流す
・Q&A 座長 川島

15:30~
展示
・ホワイエ 展示説明16:00で終了

第2部は、仙台往診クリニックの事例を通した在宅医療の実際についてスライドを作成し、流すこととする。後半は「在宅医療のQ&A」とし、申込時に質問を取っておき、それに対し舞台上の数名の回答者が質問に答えていく。当日の質問も適宜受け付ける。



救護所
を設ける

相談コーナーは、個別対応は難しいと考え、第2部をQ&Aコーナーとして対応することとした。